

ブータンにおける高齢者ケアの取り組み

坂本 龍太 氏

(京都大学 東南アジア研究所 准教授)

ブータン東部に位置するタシガン県のカリンという地区で、Basic Health Unit (BHU)という保健施設を拠点としながら、地域に即した高齢者ケアのあり方を模索してきた。ブータンでは、村にOutreach Clinicを設置し、末端からBHU、District Hospital、Regional Referral Hospital、National Referral Hospital へとつながる保健システムを構築してきた。ブータンはこれまで限られた医療の専門的人材と設備の中で、健康増進及びプライマリヘルスケアを重視し、予防接種計画と衛生管理を強化してきた。高齢者やその家族、近隣のコミュニティのニーズに沿いながらいかに持続可能な形で地域のプライマリヘルスケアの中に組み込むかという課題に取り組んでいる。

日時

2016年10月28日(金)

16:00~18:00

場所

京都大学本部キャンパス
総合研究2号館4階 大会議室(AA447)



参加費・事前登録は**不要**です。
皆様、奮ってご参加下さい。
また、会後には懇親会を予定しております。

〈お問い合わせ先〉

廣瀬: 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
hirose[at]asafas.kyoto-u.ac.jp

柳澤: 京都大学地域研究統合情報センター
masa[at]cias.kyoto-u.ac.jp

